

平成24年度

# 福岡市の教育施策

～ 福岡のすべての子どもが身につけてほしい大事なこと ～

福岡スタンダード「あいさつ・掃除 自学 立志」



福岡市教育委員会

## 福岡スタンダード推進キャラクター



スタンバード

### 【 標語 】

- 《 あいさつ 》  あいさつで 伝わる心と その笑顔
- 《 掃 除 》  おそうじで ぼくのこころも ピッカピカ
- 《 自 学 》  学ぶほど 見える世界は 広くなる
- 《 立 志 》  目標は 自分の夢への 第一歩

キャラクターのスタンバードと標語は、平成21年度に福岡市内の小中学生の応募作品の中から、選ばれたものです。

# 目次

I	平成24年度教育委員会運営方針	・・・	P 1
II	重要施策		
1.	たくましく生きる子どもの育成	・・・	P 4
	ア 確かな学力の向上		
	イ 豊かな心, 健やかな体の育成		
	ウ 福岡の特性を生かした教育の推進		
	エ 市立高等学校の活性化		
	オ 不登校の子どもへの支援等の充実		
	カ 特別支援教育の推進		
2.	信頼される学校づくりの推進	・・・	P 13
3.	信頼に応え得る教員の養成	・・・	P 14
4.	社会全体での子どもたちの育成	・・・	P 15
	ア 子どもの安全確保に向けた取組の推進		
	イ 家庭・地域における教育の支援		
5.	教育環境づくりの推進	・・・	P 18
	ア 安心して学ぶことができる教育環境の整備		
	イ 教員が子どもと向き合う環境づくり		
6.	人権教育の推進	・・・	P 20
7.	図書館事業の充実	・・・	P 21
8.	全国高等学校総合体育大会開催事業	・・・	P 22
III	教育委員会予算	・・・	P 23
IV	教育委員会組織図	・・・	P 24

基本的な生活習慣を身につけ、自ら学ぶ意欲と志  
子ども像)をはぐくむとともに、全ての市民が輝き

≪平成24年度

「新しいふくおかの教育計画」を着実に推進し、知・徳  
全ての市民が生涯を通じて自ら

≪ 予 算 ≫

「外国語教育をはじめとする学力向上への取組の推進」や「不登校ひきこもり対策の  
充実」、「良好な教育環境の実現」に重点をおいて予算を配分し、中長期的な視野に  
立った効果的な教育投資を行う。

平成24年度

## 1. たくましく生きる子どもの育成

### ア 確かな学力の向上

- ◆教育実践体制(少人数学級・一部教科担任制・少人数指導)の整備
- ◆小中連携教育の推進
- ◆生活習慣・学習定着度調査
- ◆福岡らしい国際教育(特設英語村,グローバルチャレンジイン 釜山等)の推進

など

### イ 豊かな心、健やかな体の育成

- ◆学校司書の配置,小学生読書リーダー活動推進事業,スタンダード文庫事業(仮称)
- ◆ユニバーサル教育の推進(ユニバーサルなまち実現プロジェクト)
- ◆食育や体力向上の取組推進 など

### ウ 福岡の特性を生かした教育の推進

- ◆福岡・アジアしっとりと検定の実施
- ◆福岡・釜山教育交流事業(中学生,教員等の交流)の推進 など

### エ 市立高等学校の活性化

- ◆高等学校の国際教育(アジア・ユース・教育フォーラムへの派遣,福岡女子  
高校国際教養科の海外派遣)の推進 など

### オ 不登校の子どもへの支援等の充実

- ◆スクールソーシャルワーカーの増員(8名→10名),不登校対応教員の配置 など

### カ 特別支援教育の推進

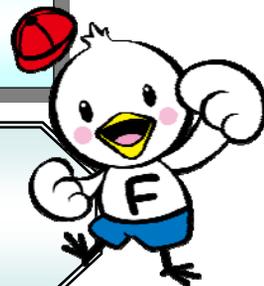
- ◆特別支援教育推進プランの推進,特別支援教育支援員の増員(96名→120名) など

## 2. 信頼される学校づくりの推進

- ◆副校長等の新たな職の拡充,異校種間人事交流の推進
- ◆学校公開週間の推進,学校HPの充実,学校サポーター会議 など

# 委員会運営方針

を持ち、心豊かにたくましく生きる子ども(めざす  
活気あふれる社会を創造する。



## 取組方針》

・体のバランスのとれた学校教育の充実を図るとともに、  
学ぶことができるよう支援する。

### 《 組織 》

良好な教育環境実現のため組織の再編を行い、事業の実施体制を強化し、教育委員会の掲げる目標実現に向け、機能的で柔軟な、活力ある組織の構築を図る。

## 重要施策等

### 3. 信頼に応え得る教員の養成

- ◆多様な人材の確保、指導力のある優秀な教員の養成
- ◆英語科教員等の海外派遣研修 など

### 4. 社会全体での子どもたちの育成

- ◆学校の防犯カメラ設置、メディアリテラシーの育成
- ◆PTAと連携した家庭教育の推進、学校支援地域連携事業 など

### 5. 教育環境づくりの推進

- ◆学校規模適正化の推進、学校給食センター再整備の推進
- ◆学校施設の総合的な改修・再整備計画の検討
- ◆校務情報化推進事業、学校給食費の滞納対策 など

### 6. 人権教育の推進

- ◆学校における人権教育研修、人権啓発地域推進組織の育成 など

### 7. 図書館事業の充実

- ◆図書宅配サービスの実施、図書館資料収集等、図書館分館整備 など

### 8. 全国高等学校総合体育大会開催事業

- ◆H25年夏に北部九州で開催される全国高等学校総合体育大会に向けた準備

# 新学習指導要領に基づく中学校教育が全面実施！

文部科学省は「生きる力を育む」という理念のもとに、学習指導要領を改訂（平成20年3月）しました。この新学習指導要領に基づく中学校教育が平成24年度から全面実施されます。（小学校では平成23年度から全面実施されています）

## 《基本的な考え方》

子どもたちの「生きる力」をよりいっそう育むことを目指し、「ゆとり」か「詰め込み」かではなく、「**基礎的・基本的な知識・技能の習得**」と「**思考力・判断力・表現力等の育成**」の両方を重視

その両方の力をバランスよく  
伸ばしていくために・・・

### 1. 標準授業時数が増加されます

- ◆ 国語 : 2年生で週当たり 3時間 → 4時間へ増加
- ◆ 社会 : 3年生で週当たり2.4時間 → 4時間へ増加
- ◆ 保健体育 : 各学年で週当たり2.6時間 → 3時間へ増加
- ◆ 外国語活動 : 各学年で週当たり 3時間 → 4時間へ増加

※ 数学、理科については平成21年度から一部増加しています。

### 2. 教科書が充実されます（ページ数が平均24.5%増加）

### 3. 教育内容が改善されます

- ◆ 言語の力・理数の力や健やかな体を育成
- ◆ 外国語教育、伝統・文化に関する教育、体験活動や道徳教育を充実
- ◆ 一人一人の子どもの障がいの状態などに応じた指導を充実

## 《TOPICS》

福岡スタンダードの推進のため、横断幕をつくり、全ての市立学校・園で掲示しています。

みんなで取り組もう！

# あいさつ・掃除 自学 立志

～福岡のすべての子どもが身につけてほしい大事なこと～

福岡市教育委員会



## 《 教育委員会での取組の様子 》



（職員による市役所周辺の昼休みの清掃活動）

## 《 学校での取組の様子 》



（上）舞松原小学校1/2成人式

（下）内浜小学校の  
あいさつ運動



# 重要施策

## 1. たくましく生きる子どもの育成

### 【取組の方向：教育の連携と充実】

子どもたちは、一人ひとりがこれからの社会を支え創造する大切な存在です。子どもたちが社会を支える市民となるために、「あいさつ・掃除」にはじまる基本的な生活習慣や、基礎・基本の学力、コミュニケーション能力、規範意識、自尊感情、そして物事に元気に取り組むことが出来る意欲や体力を、発達段階に応じてしっかり育てていきます。

ア	確かな学力の向上	[822,097千円]	P 5
イ	豊かな心、健やかな体の育成	[ 46,341千円]	P 7
ウ	福岡の特性を生かした教育の推進	[ 25,002千円]	P 9
エ	市立高等学校の活性化	[ 20,719千円]	P10
オ	不登校の子どもへの支援等の充実	[301,594千円]	P11
カ	特別支援教育の推進	[365,083千円]	P12

### 福岡スタンダードの推進

幼稚園 保育所	小学校		中学校		高校
	特別支援学校	小学部	特別支援学校	中学部	高等部
<span style="color: red;">立 志</span> <span style="color: red;">自 学</span> <span style="color: red;">あいさつ・掃除</span> <span style="color: blue;">早寝・早起き・朝ごはん</span>					

### 小中学校9年間を見通した指導のねらいと体制

区分	前期(小1～小4)	接続期(小5～中1)	後期(中2～中3)
ねらい	基本的な生活習慣の定着	学習意欲を高め、粘り強く学習する態度の確立	進路について目標を持ち、社会の中で自分を生かそうとする態度の育成
指導体制	少人数学級担任制	一部教科担任制	教科担任制
		少人数指導	少人数学級(選択制)



## ア 確かな学力の向上

### 【今後の方向性】

義務教育9年間を「4年・3年・2年」の発達段階に応じた教育実践を推進することを踏まえ、全国学力・学習状況調査で把握した課題を基に、小中学校共通の学力向上プランを選択し、学習規律・習慣の育成や基礎・基本の定着等を発達段階に応じて取り組みます。

また、新学習指導要領に則り、外国語教育など内容の充実を行います。

## 《平成24年度の主な取組》

【予算】 822,097千円

### ◆国際交流・体験活動の推進【新規】

世界に羽ばたき行動する国際人の育成を目指して、コミュニケーション力（英語力）、行動力（チャレンジ精神）、発信力（伝え合う力）を育成

【小学生】英語で様々な体験ができる「特設 英語村」を開設

【中学生】福岡インターナショナルスクールへの体験入学

英語体験施設「釜山グローバルビレッジ」へ生徒約70名を派遣

### ◆小中学校の外国語教育の充実【拡充】

生きた語学教育と国際教育を推進するため、小中学校で外国語教育を充実

【小学5・6年生】

- ・英語を母語とするゲストティーチャーの配置
- ・重点配置校で外国語活動のあり方を研究

【中学生】

- ・外国人英語指導講師の配置を1学級あたり25時間/年から35時間/年へ拡充
- ・英語チャレンジテストや英語スピーチコンテストを実施



（ゲストティーチャーによる授業）

## 福岡らしい国際教育の推進！

～世界に羽ばたき、行動する国際人の育成～

コミュニケーション力  
(英語力)

行動力  
(チャレンジ精神)

発信力  
(伝え合う力)

### 「福岡市らしい英語教育」の推進

- 英語チャレンジテスト等の実施  
（中2・3・高校）
- 一 中3・英検3級程度・30%以上
- 英語スピーチコンテストの充実  
（全中学校参加）
- ネイティブスピーカーの増員  
・中学校：年間25時間→35時間へ  
・小学校：年間15時間  
（重点配置校：35時間）

### 国際交流・体験活動の充実

- 小学生を対象としたオールイングリッシュによる活動体験（特設 英語村）
- アジア太平洋子ども会議（APCC）との連携
- 福岡インターナショナルスクール（FIS）との連携  
（留学体験 イン モモチ）
- 釜山グローバルビレッジへ中学生70名を派遣  
（グローバルチャレンジ イン 釜山）
- 福岡・釜山教育交流事業（H24釜山広域市→福岡市）
- 福岡女子高等学校国際教養科における海外語学の推進
- アジアユース教育フォーラムでの意見発表（高校）

### 英語教育を推進する人材育成

- 英語教員の海外派遣研修
- 英語リーダー養成道場
- 福岡インターナショナルスクール（FIS）と連携した教職員英語教室  
（イングリッシュキャンプ）
- 「福岡市らしい英語教育指導の手引き」による啓発

### 福岡らしい国際教育の基盤となる能力・態度

日本語力の育成

音読・朗読ハンドブック3部作活用

我が国や福岡の伝統文化  
に根ざした自己の確立

福岡・アジアしっとーと検定

異文化を理解し、受容する  
共生の心の育成

ユニバーサルなまち実現プロジェクト

## ◆小学校1～4年生で少人数数学級を実施

個に応じたきめ細かな指導を行なうため、35人以下の少人数数学級を実施

(実績) H17:小1, H18:小2まで, H19:小3まで, H22以降:小4まで実施

## ◆小学校5・6年生で一部教科担任制・少人数指導を実施

児童の興味・関心に応える授業の実施等により学力の向上を図るために実施

(実績) H20～21:小4～6年生を対象に28校で一部教科担任制モデル実施

H22以降:小5・6年生で一部教科担任制を本格実施

## ◆中学校1年生で少人数数学級を実施

確かな学力の向上, 中1ギャップへの対応, 新たな不登校児童生徒を生まないため, 学校の選択により少人数数学級を実施

## ◆小中連携教育の推進

「福岡市小中連携教育指針」を基に全中学校ブロック・実践推進校で「公教育の福岡モデル」のテーマを選択した取組を実施

## ◆生活習慣・学習定着度調査

生活習慣や学習内容の定着状況の把握や教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立を行うために, 小学校4・6年生及び中学校1・3年生を対象に本市独自で問題を作成し, 生活習慣・学習定着度調査を実施

## ◆学力パワーアップ総合推進事業

学力調査等で把握した課題をもとに, 中学校ブロック内の小中学校で共通した学力向上プランを選択し, 小中学校が連携した実効性のある学力向上の取組を実施

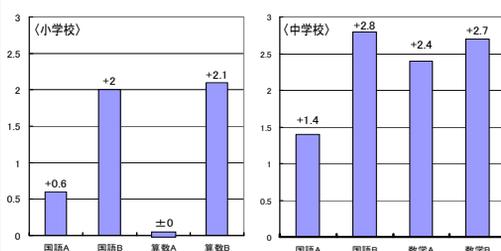
## 《これまでの成果》

■平成23年度に福岡県が実施した学力・学習状況調査における福岡市の結果をみると, 小中8分類のうち小学校の算数Aは県内の平均正答率と同率, 他の7分類は県平均を上回るなど学力は着実に定着している。

※調査結果を分析すると, 8分類全てで県平均を上回った平成22年度調査と比べて県との差が縮まっており, 課題の洗い出しなど, 改善策を講じる必要性もある。

## 学力は着実に定着しています!!

### 福岡県平均正答率との比較



福岡県における学力・学習状況調査 (H23.9.27～10.7実施)  
※県の平均正答率を0として市の平均正答率と比較

(学力・学習状況調査の結果に基づく教育委員会調べ)

## イ 豊かな心、健やかな体の育成

【今後の方向性】

道徳教育の充実やユニバーサル教育の推進を図り、相手の思いを受け止め、互いが生かされる関係をつくるコミュニケーション能力を高めるとともに、社会体験や自然体験など、さまざまな体験を通して価値判断の基準や感性・情操、思いやりの心などを育てます。

また、新体力テストにより児童生徒の体力の実態を把握し、体力向上の取組や運動部活動の充実を図るとともに、学校・家庭・地域と連携した食育を推進します。

≪平成24年度の主な取組≫

【予算】 46,341千円

### ◆子ども読書活動の推進【拡充】

「子ども読書活動推進計画（第2次）」に基づき、読書フォーラムなどを開催するとともに、就学前児童及びその保護者が継続的に本に触れることができるように公民館に絵本を年次的に整備する「スタンダード文庫(仮称)」を設置

また、小学校4・5年生を対象とした小学生読書リーダーの養成や、学校司書の配置など子どもの読書活動を推進

(学校司書の配置実績)

H20 : 小学校30校

H21・22 : 小中学校60校(30中学校ブロック)に配置

H23・24 : 別の30中学校ブロックに配置替え



(小学生読書リーダー養成講座)

### ◆「ことば響く街ふくおか」推進事業

豊かな人間関係の形成や国語力の充実を図るために作成した「音読・朗読ハンドブック」を活用し、音読・朗読交流会を実施するなど言語能力を育成

(実績)

H21:前期用「かがやき」作成, 小1～3に配付

H22:接続期用「はばたき」作成, 小4～中1に配付

H23:後期用「きらめき」作成, 中2・3に配付(H24.4)



(きらめき)

### ◆ユニバーサルなまち実現プロジェクト

市立小中高校の指定校11校で、児童生徒自身がユニバーサルな視点で地域を点検し、気づいたことなどの実践発表等を通じて保護者・地域に発信するなどユニバーサルな心を育成するとともに、主体的に行動する意欲や態度を育成

### ◆学校給食費額の改定

前回改定(平成12年度)から食材費等が月換算で約400円値上がりしたため、学校給食費を改定。

また、メニューの充実や国産品の使用、地産地消にもさらに対応

【小学校】 3,500円/月 ⇒ 3,900円/月  
(1食あたり226円)

【中学校】 4,200円/月 ⇒ 4,600円/月  
(1食あたり266円)

## 《左記以外の主な取組》

### ■1/2成人式(小学校4年生), 立志式(中学校2年生)

福岡スタンダード「あいさつ・掃除 自学 立志」を推進するための取組のひとつとして、将来への夢や目標をもつ意識を育成



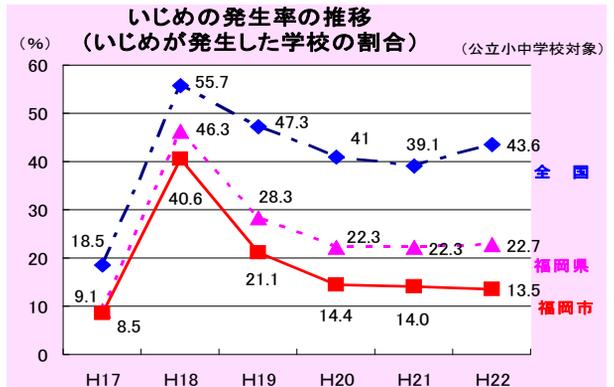
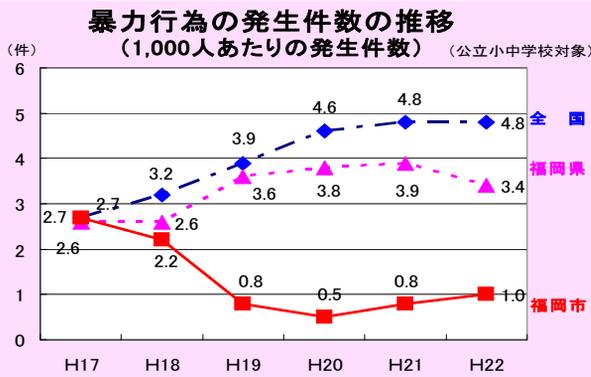
(立志式で展示する「夢」の文字を書く中学校の生徒)

### ■豊かな心の育成

「心のノート」の活用, 非行防止学習の実施, 自然教室の実施, メディアリテラシーの育成(子どもとメディアのよい関係づくり事業や「インターネットの有害情報への対応」DVDや児童向けリーフレットを活用した意識啓発)

## 《これまでの成果》

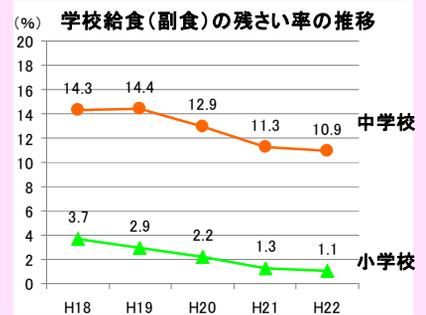
- 平成19年度から、学校での規範教育の充実及び学校と警察との連携強化により、全国では増加傾向にある暴力行為の件数が減少し、現在も低い水準にある。また、いじめの発生件数も、本市では低い水準にある。



- 「子どもの読書活動に関する意識調査」(H21実施)の結果では、読書が好きという子どもが8割を占めており、好きな本の種類の1位は「小説や物語」、2位は「マンガ」となった。(前回調査(H16)では、1位が「マンガ」、2位が「小説や物語」)

- 最優秀メニューを実際の給食に取り込む「給食コンテスト」や、食べ残しの給食を家畜飼料の原料などにする「給食残さいリサイクル」に取り組み、食を大事にする心や食への感謝の気持ちを育成

### 給食の食べ残しが減っています！



(教育委員会調べ)

## ウ 福岡の特性を生かした教育の推進

### 【今後の方向性】

福岡市が持つ自然や歴史、文化的・社会的資源を最大限に活用し、学校教育の内容と方法に広がりと深まりを持たせます。

### 《平成24年度の主な取組》

【予算】 25,002千円

#### ◆福岡・釜山教育交流事業

児童生徒の国際理解教育の素地を培うために釜山広域市教育庁と交流を実施  
平成24年度は釜山広域市から教職員と中学生を受け入れ、相互交流や公開授業を実施

(実績) H21：釜山広域市教育庁と「教育交流に関する覚書」を締結  
小学生向け副読本を作成

H22：釜山広域市から教職員と中学生を受け入れ

H23：釜山広域市へ教職員と中学生を派遣



(H22:釜山広域市から派遣された教員による授業)



(H23:釜山広域市に派遣された中学生による報告)



(日本語版)

副読本「もっと知りたい福岡・釜山」



(韓国語版)

#### ◆福岡・アジアしっとーと検定【新規】

福岡の歴史や偉人・文化及び釜山やアジアの国々について楽しく学習し、福岡やアジアの良さや知識を身につけた児童生徒を育成するために実施

#### ◆特色ある教育の推進

地域に愛着と誇りを持ち、地域の中で健やかに育つ児童生徒を育成するために、地域人材や社会施設等の活用など地域と連携した特色ある教育活動を推進し、学校教育の一層の活性化を促進

#### ◆「学生サポーター」制度活用

学習指導・学校行事補助、部活動補助、障がいのある子を支援するため、協定を結んだ大学から学校・園に「学生サポーター」を派遣（協力大学は18校）

#### ◆職場体験学習事業

勤労観・職業観の育成を図るため、全中学校で2年生を中心に、学校や地域の実態に応じて3日間程度の職場体験学習を実施

## エ 市立高等学校の活性化

### 【今後の方向性】

市立高校として進学や就職など生徒の多様な進路希望に応える教育内容を提供し、生徒の進路実現を支援するとともに、中学生や市民から必要とされる魅力ある高校づくりを推進します。

### 《平成24年度の主な取組》

【予算】 20,719千円

平成24年3月にまとめた「福岡市立高等学校の活性化に向けた取組方針」に基づき、福岡の新たな未来を創造する人材の育成を使命として、各校の特色を生かした魅力ある市立高校づくりを推進します。

### ◆市立高校国際教育の推進【新規】

英語によるコミュニケーション能力や豊かな国際感覚などを育成するため、意欲ある生徒が積極的に海外にチャレンジできる機会を提供

- ・釜山広域市で開催されるアジア・ユース・教育フォーラムへの派遣
- ・福岡女子高校国際教養科における海外語学研修の推進



(アジア・ユース・教育フォーラム)



(スチューデントカンパニーの株主総会)

### ◆高等学校キャリア教育支援事業

生徒の勤労観・職業観を育成するため、福翔高校でのスチューデントカンパニー・プログラムの実施や、進路講演会を開催するなど市立高校におけるキャリア教育を推進

### ◆進路実現プロジェクト

社会人講師の招致や進路指導員の配置、教員の授業力向上のための研修の実施や、民間教育機関が主催するセミナーへの教員派遣など生徒の進路実現に向けた取組の推進



(福岡市立福岡西陵高校管弦楽部)  
(於)福岡アクロスシンフォニーホール

### ◆魅力ある高校づくりの推進

各学校の特色を生かした魅力ある市立高校づくりを推進するとともに、市立高校4校の合同パンフレットを作成するなど広報を充実

## オ 不登校の子どもへの支援等の充実

【今後の方向性】

「中1ギャップ」への的確な対応を図るために、中学校1年生における少人数学級の実施や不登校対応教員の配置を進めるとともに、小中連携や家庭、関係機関との連携を図るなど、不登校生徒への支援の充実に取り組みます。

《平成24年度の主な取組》

【予算】 301,594千円

### ◆不登校対応教員の配置

不登校生徒に対する適切な指導・支援に専任的に取り組む不登校対応教員を中学校に24名配置

(実績) H21: 20名, H22: 23名, H23以降: 24名を配置

### ◆スクールソーシャルワーカーを2名増員【拡充】

中学校区を活動範囲とするスクールソーシャルワーカー(SSW)を2名増員し、小学校10校に配置

(実績) H20: 2名, H21: 4名, H22: 6名, H23: 8名を配置



(子どもが登校しているか確認するSSW)

### ◆スクールカウンセラー、心の教室相談員の配置

スクールカウンセラーを中学校67校、高校4校に配置  
未配置中学校2校(小呂中、玄界中)に心の教室相談員を配置

### ◆中学校1年生で少人数学級を実施(再掲:P6)

## 《これまでの成果》

■平成20年度に「不登校ひきこもり対策支援会議」を設置。同会議の提言を受け、平成21年度からさまざまな取組を行い、不登校児童生徒数が減少傾向にある。

※平成23年度末の不登校児童生徒数内訳は、小学生: 143人, 中学生: 855人(計998人)であり、中学生は過去10年間で最少となっている。

### 不登校生徒数の推移



(教育委員会調べ)

## カ 特別支援教育の推進

### 【今後の方向性】

「障がい等のある児童生徒の自立と社会参加」を一層促進するために、校内支援体制を整備するとともに、教職員の障がいに対する理解を図り、特別支援学校における教員の専門性の向上とセンター的機能の充実を行います。

また、特別支援学級等の整備を推進します。

### 《平成24年度の主な取組》

【予算】 365,083千円

#### ◆特別支援教育推進プランの推進

特別支援教育推進プラン（福岡いきいきチャレンジプラン）を実効性のあるものとするため、市民向けリーフレットや教職員用ハンドブックを作成するなど特別支援教育の理解を促進



（福岡いきいきチャレンジプラン）

#### ◆特別支援教育支援員を24名増員【拡充】

幼・小・中・高等学校に在籍するLD（学習障がい）やADHD（注意欠陥多動性障がい）等、障がいのある幼児児童生徒の支援体制を充実するために特別支援教育支援員を24名増員し、120名配置

（実績）H21:60名、H22:75名、H23:96名を配置

#### ◆博多高等学園移転整備

平成25年4月の開校に向け、博多区大浜小跡地で新校舎の建設を推進

### 《上記以外のこれまでの主な取組》

#### ■ 特別支援学級等の整備

（H23までの特別支援学級整備状況）

- ・知的障がい（小学校107校，中学校49校）
- ・肢体不自由（小学校3校，中学校3校）
- ・病弱・身体虚弱（小学校5校，中学校5校）
- ・弱視（小学校2校）
- ・自閉症・情緒障がい（小学校5校，中学校3校）

#### ■ 交流及び共同学習の充実（副籍制度の実施）

特別支援学校に入学する児童生徒を対象に、居住する地域の小・中学校に副籍を置き、交流及び共同学習（居住地校交流）をさらに推進

### 《これまでの成果》

- 特別支援教育支援員の配置により、落ち着いて学習に参加できるようになり、友達とのトラブルが減るなど、学習面・生活面が改善し、学習への集中度や参加意欲が向上した。
- 特別支援学級の新設により、居住する地域の近隣の学校で児童生徒の心身の発達状況に応じた指導を行うことができた。

## 2. 信頼される学校づくりの推進

### 【取組の方向：組織体制の充実と魅力ある学校づくり】

校長を中心とした組織的・協働的な学校経営を推進し、学校の組織力の強化に取り組むとともに、地域と連携し、開かれた信頼される学校づくりを進めます。

### 《平成24年度の主な取組》

【予算】 3,301千円

#### ◆副校長等の新たな職の拡充

小・中・特別支援学校に平成20年度から新たな職を設置し、平成24年度は180名(副校長6名、主幹教諭158名、指導教諭16名)を配置(H23年度141名)  
高等学校及び幼稚園には平成23年度から設置し、平成24年度の配置状況は、高等学校に副校長4名、主幹教諭4名、幼稚園に副園長1名

#### ◆異校種間人事交流の推進

小-中学校間、特別支援学校-小中学校間など異校種間の人事交流を推進  
平成24年度は、管理職51名、教諭43名、合計94名の教員が交流

#### ◆学校公開週間の推進

毎年11月1日～7日に市立学校・園を地域住民等へ公開

#### ◆学校のホームページの充実

開かれた学校づくりを推進するため、「福岡市立学校・園ホームページ公開指針」に基づき、「学校・園経営方針」「本年度の目標・重点」「学校・園評価」「学校・園サポーター会議の内容」等を学校のホームページに掲載するなど広報の充実

#### ◆学校評価の推進

「学校運営改善」「信頼される開かれた学校づくり」「教育の質の保証・改善」のため、各学校で実施する学校評価を推進

### 《上記以外のこれまでの主な取組》

- 学校で発生する諸問題の早期解決のため、平成20年に学校問題解決支援会議を設置し、問題解決に向けた対応方針の策定や弁護士による法的助言を実施。また、平成21年度には、保護者等対応の手引き「信頼される学校を目指して」を作成

# 3. 信頼に答え得る教員の養成

## 【取組の方向：教員の資質や指導力の向上】

確かな力量と豊かな人間性を備え、使命感を持って子どもたちを導くことができる教員の確保と指導力の向上を進めます。

### 《平成24年度の主な取組》

【予算】 95,755千円

#### ◆優れた資質を持つ人材の確保

今後の教員の大量退職に対応するため、採用試験の工夫・改善や、受験者確保の取組を進め、優れた資質のある人材を確保

(実績)

- ・教員採用試験で特別選考を実施（教職員経験者、社会人等のほか5区分）  
（採用者数）H20実施：11人、H21実施：18人、H22実施：17人、H23実施：39人
- ・高等学校に民間出身の教頭を2名採用（H21）



#### ◆教員研修の充実、及び研究・研修の支援

教職経験や職能、課題に応じた職務能力の向上を図る研修講座を企画・実施  
授業力向上支援センターの環境を整備

#### ◆英語教員等の海外派遣研修【新規】

英語運用力・英語指導力などの向上を図るため、小学校外国語活動担当教員1名の海外派遣研修を実施（2カ月間）

#### ◆体罰によらない教育の推進

温かい人間関係と信頼に基づく教育に取り組むために各学校で研修を実施

(実績) H21：研修冊子・リーフレット「体罰によらない教育のために」作成



(採用候補者事前研修)



(教員の教科等研修：小学校音楽)

# 4. 社会全体での子どもたちの育成

【取組の方向：家庭教育支援と就学前教育の展開，  
地域・企業等における子育て支援の推進】

学校、家庭、地域・企業等が連携し協力しあいながら子どもたちを育ていく取組を進めます。

## ア 子どもの安全確保に向けた取組の推進

《平成24年度の主な取組》

【予算】 29,143千円

### ◆地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

学校内外において子どもの安全を見守るスクールガード(学校安全ボランティア)を養成し、地域ぐるみで学校の安全に関する取組を推進

### ◆学校の防犯カメラの設置

学校への不審者侵入対応や犯罪発生の抑止を目的として、全市立学校(園)に防犯カメラを段階的に設置(平成24年度は45校に設置)

(実績) H23: 40校に設置

### ◆小学校1年生への防犯ブザーの配付

登下校の安全確保などを図るため、小学校の児童に防犯ブザーを配付

(実績) H19までに全児童に配付、H20以降は小学校新1年生に配付

### ◆メディアリテラシーの育成

インターネット・携帯電話を介した有害情報から児童生徒を守るため、全ての市立小中学校で保護者や地域への啓発活動を実施

(実績) H20: 保護者用DVD, 教員用指導資料集の作成  
H21以降: 全市立小中学校で啓発活動を実施

## 《これまでの成果》

- 平成23年度末時点で、小学校146校のうち133校が、中学校69校のうち53校が、スクールガードの取組を実施するなど学校と保護者、地域が連携して、地域社会全体で学校安全に取り組む体制づくりが進んでいる。



(交通安全教室)

## イ 家庭・地域における教育の支援

《平成24年度の主な取組》

【予算】 11,284千円

### ◆PTAと連携した家庭教育支援事業

小中学校の入学説明会等を活用した学習会やPTA研修事業などPTAと連携した家庭教育支援事業を実施

また、不登校の子どもを持つ保護者を支援するためのネットワークの構築や学習会・交流会を開催

### ◆学校支援地域連携事業

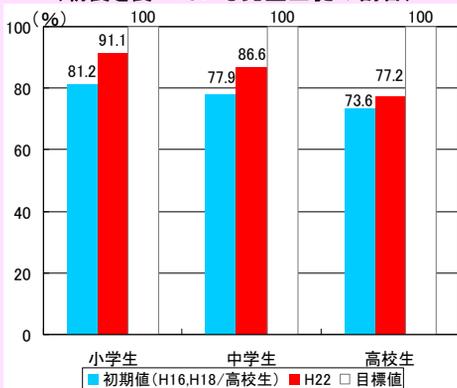
教員が子どもと向き合う時間を確保するため、学校と地域の連携体制をつくり、地域全体で学校を支援する体制を構築

また、地域の教育力の向上を図るため、学校内に学校支援ボランティアなどの活動の場を整備

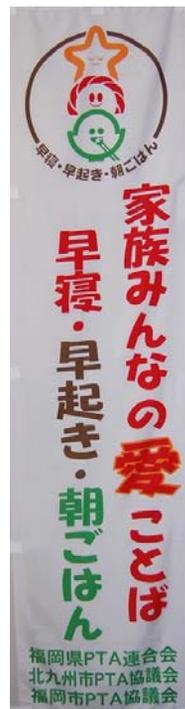
## 《これまでの成果》

- 家庭教育を家庭のみの問題として捉えず、地域や学校を含め社会全体で家庭教育を支援した結果、生活リズムが向上するなど基本的な生活習慣の確立に効果があった。

朝食をきちんと食べる子どもが増えています！  
(朝食を食べている児童生徒の割合)



対象：福岡市立学校の児童生徒 (教育委員会調べ)



(啓発用にPTAが作ったのぼり)

ふいかえろう 毎日の子育て！



# 福岡市 家庭教育 10か条



福岡市PTA協議会と教育委員会が協力して作成

- 一、子育ては 誉めて 叱って 見守って
- 一、聴きましょう 子どもの話を最後まで
- 一、「ありがとう」「ごめんなさい」 素直な気持ちを大切に
- 一、基本です「早寝・早起き・朝ごはん」
- 一、明るく元気に笑顔の「おはよう」
- 一、ふれあおう 親子で スポーツ 外遊び
- 一、いっしょに読もう「子どもと本の日」
- 一、話しあおう ケータイの必要性 決めよう 使用のマナーとルール
- 一、声かけて 習慣づけよう 家庭学習
- 一、すすんでやろう 整理整頓

## 家庭，地域・企業等のみなさまへ～「共育」へ向けて～

子どもたちは学校だけでなく、家庭や地域の中で様々な体験をしたり様々な人々と関わったりしながら学び、成長していきます。

そこで、学校、家庭、地域・企業等それぞれが教育の主体（担い手）としての責任を持つとともに、社会全体で共に教育に取り組む「共育」が必要です。

○子どもに基本的な生活習慣を身につけさせ、責任をもって豊かな心や健やかな体を育む温かい家庭であることが望まれます。

学校

○子ども一人ひとりを大切に、知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育む学校教育をめざします。

「共育」

家庭

地域  
企業等

○子どもが健全に成長するよう見守るとともに、積極的に教育活動に協力し参画することが望まれます。

# 5. 教育環境づくりの推進

## 【取組の方向：教育委員会事務局の学校、家庭等への支援力の強化】

学校が主体性を持ち、充実した教育を行うことができるよう学校の教育活動への支援や家庭への啓発を進めます。また、教育効果が十分発揮できるよう施設整備等を行います。

### ア 安心して学ぶことができる教育環境の整備

《平成24年度の主な取組》

【予算】 7,141,704千円

#### ◆学校規模適正化の推進

小規模校や過大規模校の課題解決のため、「福岡市立小・中学校の学校規模適正化に関する実施方針」に基づき、教育環境の課題解決に向けた取組を推進

##### 【舞鶴中ブロック】

H26年度の開校に向けて、小中連携校の建設を推進

##### 【住吉中ブロック】

H27年度の開校に向けて、小中連携校の実施設設計の実施



(完成予定図：舞鶴小中連携校)

#### ◆学校給食センター再整備の推進

平成26年度の第1センター稼働に向けて、用地取得や事業者選定を行い、設計・建設工事に着手するとともに第2センター整備計画を策定し、事業手法や実施方針などを検討

#### ◆学校施設の総合的な改修・再整備計画の検討

老朽化している学校施設の大規模改造・トイレ改造への対応並びに今後到来する建て替えを計画的に進めるため、総合的な改修・再整備計画を検討

### 《上記以外のこれまでの主な取組》

#### ■学校施設の耐震化の完了

児童生徒の安全確保のため重点的に取り組んできた学校施設の耐震化について、平成23年度に全て完了

#### ■夏期暑熱対策の扇風機設置完了

平成20年度から段階的に進めてきた天井固定型扇風機の小中学校普通教室への設置が平成23年度に完了

※扇風機以外の方策について試行・調査を実施し、今後の暑熱対策を検討

#### ■学校施設窓サッシの落下防止対策の完了

平成21年12月から平成23年2月にかけて小中学校5校で窓サッシ落下事故が発生したことを受け、平成23年3月に「学校施設窓サッシ検証検討会」を設置し、再発防止に向け検討を実施。平成23年度末までに全学校施設の落下防止対策を完了



(校舎の耐震化)

# イ 教員が子どもと向き合う環境づくり

《平成24年度の主な取組》

【予算】 247,395千円

## ◆校務情報化推進事業

全教員へのパソコン整備を平成24年度に完了するとともに、校務の効率化や教材の共有化等により教員が子どもと向き合う時間を確保できる環境づくりを推進するための校務支援システムの導入に着手

## ◆学校問題解決支援事業

「学校保護者相談室」「学校問題解決支援会議」や、弁護士による緊急相談等を実施するとともに、学校の対応能力向上のための研修等を実施

### 《上記以外の主な取組》

#### ■給食費未納対策

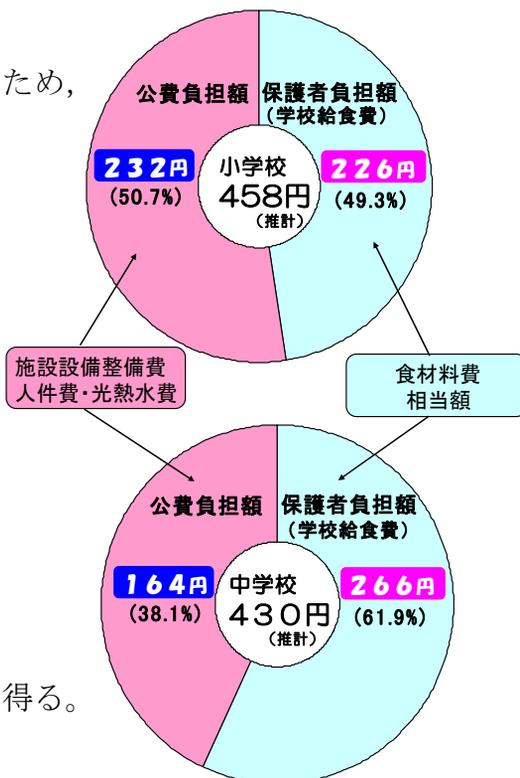
給食の円滑な運営と保護者間の公平を保つため、法的措置の対象を滞納世帯全般に拡大するなど未納対策を強化

### 《これまでの成果》

■弁護士等も交えての学校支援、保護者向けの相談室の周知・活性化により、学校問題の早期解決等に貢献している。

■滞納給食費について平成22年度末までに、1,825世帯（169,621千円）に最終催告を行い、942世帯から101,282千円の納付及び納付誓約を得る。

学校給食経費の負担割合  
(1食あたり)



# 6. 人権教育の推進

## 【取組の方向：「福岡市教育委員会人権教育推進計画」 に基づく人権教育の推進】

「福岡市教育委員会人権教育推進計画」に基づき、学校教育においては学校の教育活動全体を通じて人権教育の積極的な推進を図るとともに、社会教育においては基本的人権の尊重を基調とする総合的な視点に立った人権教育を推進します。

### 《平成24年度の主な取組》

【予算】 94,077千円

#### ◆学校における人権教育の研修

教職員の人権問題に対する正しい理解・認識と人権意識の高揚を図るため、学校、研究団体の研修を推進

#### ◆人権啓発地域推進組織育成

補助金の交付や全市交流会の開催などを通して、人権啓発地域推進組織を育成・支援

#### ◆地域の教育力活性化事業

基本的な生活習慣の定着等、保護者の家庭教育に関する学習を行う地域グループや、様々な人権課題当事者の社会参加を促進する学習活動を行う地域グループに助成



(校区の人権週間のひとこま)

### 《上記以外の主な取組》

- 人権教育読本「ぬくもり」の活用
- 社会教育における様々な取組(PTA人権教育研修など)
- 社会教育専門職員等の研修講座 など

### 《これまでの成果》

- 児童生徒の人権問題に対する認識と理解が深まり、確かな人権感覚などを身につけた児童生徒の育成や、教職員の資質向上が図られている。
- 社会教育における様々な取組(P T A人権教育研修など)により、市民の人権問題に対する理解と認識は一定の深まりを見せている。
- 市民主体の人権啓発地域推進組織の活動が全市143組織(平成23年度末現在)で取り組まれている。

# 7. 図書館事業の充実

## 【取組の方向：市民生活を豊かにする生涯学習の推進】

市民の多様化，高度化する学習活動に必要な資料・情報を収集し提供するとともに，利用者の利便性向上を図ります。

### 《平成24年度の主な取組》

【予算】 233,345千円

#### ◆図書館資料収集等

市民の教育，学術・文化の発展に寄与するため，図書資料，文書資料，映像資料の収集・整理・保存・利用サービスを実施

#### ◆図書館分館整備

市民センター（7館）及び地域交流センター（3館）内で図書館分館を運営  
また，香椎副都心公共施設内の東図書館の移転整備に向けた基本・実施設計に着手

（実績）H22：市の多目的施設さいとぴあ内に西部図書館を開館



#### ◆図書の宅配サービス【新規】

高齢などを理由に図書館に来館することが困難な方々が，気軽に図書館を利用できるよう図書資料の郵送を実施（郵送料金は利用者負担）

#### ◆図書返却ポスト等の増設【拡充】

新たに早良区役所入部出張所に返却ポストを設置するとともに，地下鉄西新駅構内の「ハートフルショップMOMO」及び西鉄薬院駅1階の「ときめきショップありがたや」で図書の返却受付を開始するなど利用者のサービスを向上

（実績）H22：福岡市役所1階情報プラザ及び地下鉄博多駅，別府駅のお客さまサービスセンター内に設置



（図書返却ポスト）

## 8. 全国高等学校総合体育大会開催事業

### 【取組の方向：】全国高等学校総合体育大会に向けた準備の推進

平成25年夏に北部九州4県で開催される「全国高等学校総合体育大会」に向けた準備を推進します。

### 《平成24年度の主な取組》

【予算】 16,539千円

#### ◆全国高等学校総合体育大会開催事業【新規】

平成25年夏に北部九州4県（福岡県，佐賀県，長崎県，大分県）で開催される全国高等学校総合体育大会に向けた準備を実施

##### 【福岡市実施競技】

- ・サッカー(男子)
- ・ソフトボール
- ・柔道
- ・テニス           以上4種目

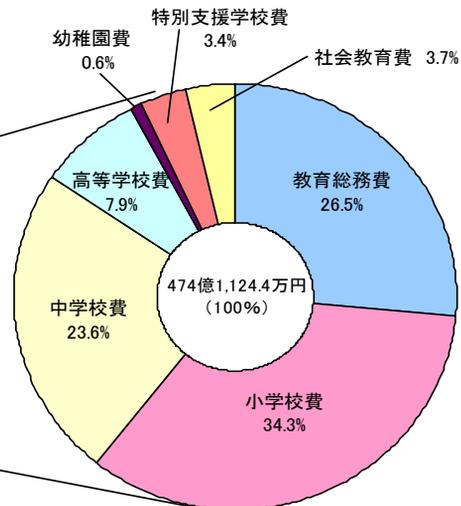


# 教育委員会予算

平成24年度 福岡市一般会計 歳出予算と教育費の内訳

一般会計総額 7,662億,330万円

保健福祉費	1,812億6,340.7万円 (23.7%)
経財観光文化費	1,349億5,946.9万円 (17.6%)
公債費	1,013億6,961.3万円 (13.2%)
こども育成費	890億2,173.6万円 (11.6%)
都市計画費	646億7,965.0万円 ( 8.4%)
教育費	474億1,124.4万円 (6.2%)
総務費	451億8,536.0万円 (5.9%)
土木費	377億9,907.3万円 (4.9%)
その他	645億4,344.8万円 (8.4%)



平成24年度の一般会計予算は、7,662億3,300万円で、前年度比で5,100万円増となっています。そのうち、教育費は、474億1,124.4万円で、前年度と比較すると18億4,167.1万円、3.7%の減となっており、一般会計に占める割合は、6.2パーセントとなっています。

## 《TOPICS》

立ち上げました!!

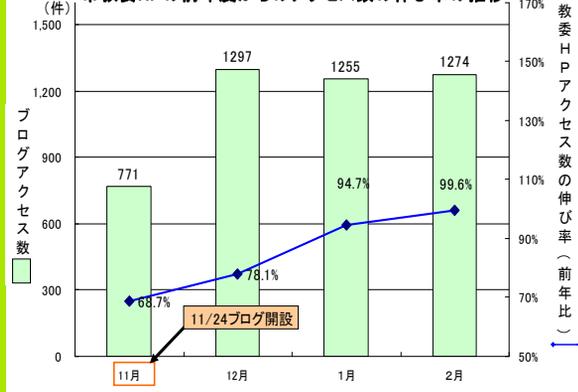
# 教育委員会ブログ部



(取材内容を記事にするブログ部員)

### ブログアクセス数及び

市教委HPの前年度からのアクセス数の伸び率の推移



教育委員会ホームページのリニューアル(H22.11)から1年が経過する頃からアクセス数が前年度に比べ減少傾向にありましたが、ブログ開設後は前年度の水準に戻りつつあります。

教育委員会では、学力向上や不登校児童生徒数の減少等、近年特筆すべき成果が現れていますが、それを上手に伝えることができていません。

そんな課題を解決するため、平成23年11月にブログ部を立ち上げました。

ブログ部では、教育や学校に関する情報や取組などを市民の皆さまに幅広く、お知らせしていますので、気軽に覗いてみてください。

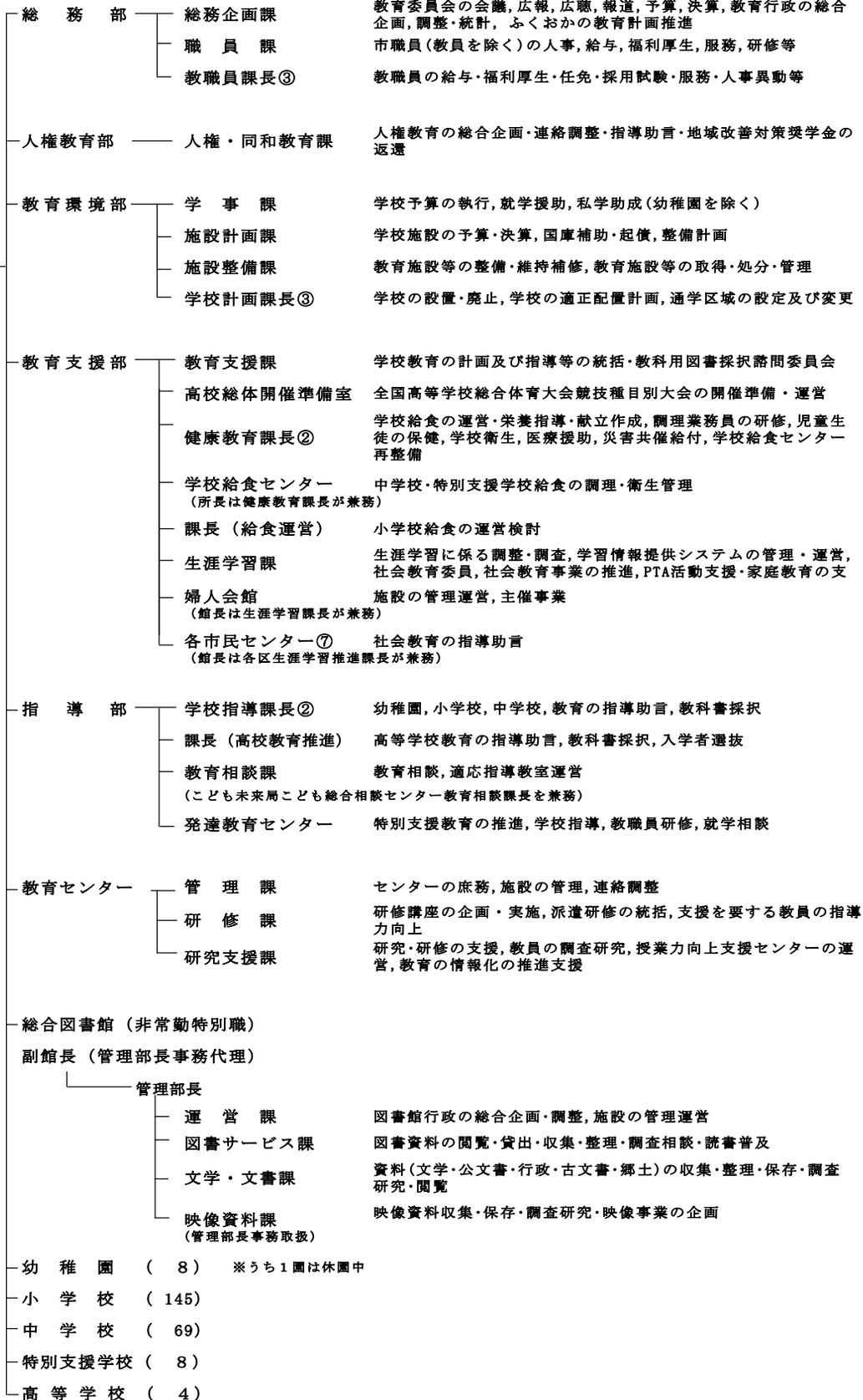
[福岡市教育委員会ブログ部](#)

[検索](#)

# 教育委員会組織図

## 教育委員会

- 委員長 八尾坂 修
- 委員 森 重隆  
(委員長職務代理者)
- 委員 大田 夏美
- 委員 松原 妙子
- 委員 阿部 晶子
- 教育長 酒井 龍彦
- 教育次長
- 理事



平成24年度

## 福岡市の教育施策



## 福岡市の教育施策 平成24年4月

編集・発行 福岡市教育委員会総務部総務企画課  
福岡市中央区天神1丁目8番1号  
電話 092-711-4605

ホームページ <http://www.city.fukuoka.lg.jp/kyouiku/>